

令和6(2024)年10月  
主催 日本化学会東海支部化学教育協議会  
後援 愛知、岐阜、三重、静岡、長野  
各県教育委員会、名古屋市教育委員会

## 第53回東海地区高校化学教育セミナーのご案内

高等学校における化学教育の充実とレベルアップを目指す本セミナーは本年で第53回を迎えます。コロナ禍中は遠隔での開催となりましたが、それらを含め、毎年の講師の先生方の示唆に富んだ講演と実験は、参加された皆様により、現場の化学教育の活性化とレベル向上につながっていると感じられます。

今回は、信州大学工学部教授の錦織広昌先生と、長野県諏訪清陵高等学校の市原一模先生を講師にお迎えして開催いたします。

錦織広昌先生は、現在、日本化学会東海支部長を務められています。研究面では、光触媒・粘土鉱物を用いた有害物質の分解、色素を用いた光合成模倣型太陽電池、フォトクロミック反応をテーマとして、基礎研究から応用研究まで幅広く活動されており、光のほか、バイオマス資源の有効利用や天然の粘土鉱物を用いた新たな機能性材料の創出など、自然の力を利用したエネルギー変換・環境浄化の研究にも取り組まれています。今回は、それらの中から、光触媒による有機廃棄物のエネルギー利用についてご講演いただきます。

市原一模先生は、長野県の高等学校教員として同県の化学教育に尽力され、化学教育関係の討論会等で発表を行うとともに、実験の重要性を認識し、高等学校化学の実験書の執筆に携わるなど、広く化学教育に貢献して来られました。今回は、金属イオンの系統分離と確認を題材とした実験を通して、探究活動指導についての議論の場としていただく予定です。

下記要領で開催いたしますので、化学関係の先生方はもちろん、その他の理科教育関係の先生方にも多数ご参加いただきたく、広範のご案内をお願い申し上げます。

### 記

期日：令和6(2024)年12月22日(日)

会場：名城大学(午前)共通講義棟北講義室、(午後)研究実験棟I 学生実験室  
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

(地下鉄鶴舞線塩釜口駅1番出口より徒歩12分。次頁の案内図をご覧ください。)

9:40	受付開始	
10:10	開会挨拶	日本化学会東海支部化学教育協議会委員長 前林 正弘
10:20	講演	光触媒による有機廃棄物のエネルギー利用
～12:00		錦織 広昌 (にしきおり ひろまさ) 先生 (信州大学工学部 教授) (昼休み)
13:10	講演・実験実習	未知金属イオンの系統分離と確認
～16:00		～思考力, 判断力, 表現力を育成し科学的に探求する～ 市原 一模 (いちばら かずのり) 先生 (長野県諏訪清陵高等学校教諭)

定員 : 60名 (定員充足次第締切)

参加費 : 日本化学会会員 (教育会員) : 1,000円

非会員 : 2,000円 ※新任教員・30歳未満若手講師は非会員でも無料

- ・参加費は当日受付にてお支払い下さい。
- ・昼食については、各自でご準備いただきますようお願い致します。
- ・実験に参加する方は、安全メガネおよび白衣を持参してください。

申込方法 : 次の申込サイトに必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/bkm9Jm76CVb3mMjX7>

右のQRコードからもアクセス可能です。

※Webからの申込が不可能な時は催事担当まで

メールにてご連絡下さい。



申込締切 : 令和6 (2024) 年12月11日 (水)

本催事担当 (2024年度) :

前林正弘 名城大学農学部応用生物化学科 e-mail:mmae@meijo-u.ac.jp

各県委員 (各県問い合わせ先)

愛知 稲守 将基	県立旭丘高校	inamori9177@aichi-c.ed.jp
岐阜 藤村 優	県立池田高校	p54683@gifu-net.ed.jp
三重 坂本 利孝	県立伊勢まなび高校	sakamoto.to@mxs.mie-c.ed.jp
静岡 富川 友秀	県立松崎高校	tomohide02.fukawa@edu.pref.shizuoka.jp
長野 市原 一模	県立諏訪清陵高校	kaz-ichi@m.nagano-c.ed.jp

会場案内図 :

